

【巻頭言】

2022年秋に思うこと

(日本臨床美術協会 理事長・東京藝術大学 名誉教授) 木戸 修 …… 1

【特別寄稿】

関係論的人間観から捉え直す意味生成ケア活動の成り立ち

－意味生成ケア活動としての臨床美術の課題－

(臨床美術学会副会長, 日本臨床美術協会副理事長,

銀の權アートスタジオ研究室) 北澤 晃 …… 3

【原著】

美術制作と共に表現される自己意識感情

～アルツハイマー病の人たちの美術活動とその作品から (2)～

(日本臨床美術協会顧問) 宇野 正威 ……13

(芸術造形研究所) 大倉 葉子

(芸術造形研究所) 藤木 晃宏

ボランティアを担う人々に対する臨床美術

～臨床美術におけるコミュニケーションを伝えることの有用性～

(yoshi クリニカルアート研究室) 小野寺良枝 ……21

【研究報告】

次世代教育に希求される臨床美術の可能性

(東京家政大学) 保坂 遊 ……31

「リワークプログラムにおける臨床美術の有効性の検討」

－テキストマイニングによる分析を通じた臨床美術プログラムの検証－

(東北福祉大学) 三品 竜浩 他 ……39

【事例報告】

「はじまりのアート」の活動からみる臨床美術の可能性

(アート&ヘルスケア臨床美術アトリエ苗) 岩崎 朋美 他 ……47

高校美術教育での効果的な臨床美術活用について ―高校2年美術IIの授業実践を通して―

(岩手県立黒沢尻北高校非常勤講師) 小野寺牧子 ……53

臨床美術学会規約……………59

臨床美術学会・論文集投稿規程……………64

『臨床美術ジャーナル』執筆規程……………66

臨床美術学会役員……………67